

平成30年6月吉日

第9回 大仏書道大会 事業内容

主 催 特定非営利活動法人奈良 21 世紀フォーラム 朝日新聞社
後 援 東大寺 奈良県 奈良県教育委員会 奈良市 奈良市教育委員会
協 力 奈良教育大学書道教育専修 奈良女子大学書道部

1300 年前に編纂された「古事記」・「日本書紀」・「万葉集」や正倉院に伝わる文書などはすべて筆と墨で書かれ、当時の社会や経済、文化を知るうえに貴重な資料となっている。古代中国で生まれた書は、わが国に伝わると漢字から仮名を生み出し、芸術性豊かな日本独特の文化として発展してきた。現代社会においても、書は新しい魅力を生み出し続けることを、若い世代に伝え、彼ら若い世代による新しい展開と将来の可能性に期待する。

1. 「大仏書道展」(作品募集および入選作品の東大寺での展覧会)

作品募集 以下のいずれかを課題に選んでいただき、全国から募集する。

- ① 大仏様に日本の未来を祈願する
- ② 大仏様にあなたの未来を祈願する
- ③ 古事記・日本書紀・万葉集の世界に取材した文言を捧げる
- ④ 奈良の思い出を語る
- ⑤ 仏典から得た文言を捧げる

出 品 料 無料

作品締切 9月28日(金) 必着

展 覧 会 入選作品100点(特別賞7点を含む)を展示する。

開催日 平成30年10月27日(土)～28日(日)

午前9時～午後4時

会 場 東大寺大仏殿西回廊

入場料 無料

2. 「席書会」(東大寺での作品制作・奉納)

内 容 講話を聴き、写経および揮毫を行う。

作品は大仏様に奉納する。

日 時 平成30年10月28日(日) 午前10時～12時

会 場 東大寺大仏殿西回廊

対 象 高校生・大学生

参加費 無料(定員25名)

以上

第9回大仏書道展 募集要項

1	出品資格	全国の高校生・大学生・大学院生（これに準ずる年齢の若者）
2	課題（テーマ）	①大仏様に日本の未来を祈願する ②大仏様にあなたの未来を祈願する ③古事記・日本書紀・万葉集の世界に取材した文言を捧げる ④奈良の思い出を語る ⑤仏典から得た文言を捧げる ※作者の名前または名前の分かる印を押してください。
3	作品のサイズ	半切 1/2（横 35cm、縦 70cm） 縦横自由
4	出品料	無料（1人1点）
5	作品受付	平成30年9月28日（金）※必着
6	送り先	〒630-8244 奈良市三条町 511-3 奈良交通第2ビル 奈良 21 世紀フォーラム事務局 宛
7	送付物	①「作品」は未表装のままお送り下さい。 ②同封の「出品票」「連絡先」を作品に記入の上、クリップ止めをしてお送り下さい。枚数が足りない場合は、お手数ですがコピーして下さい。 ※入選作品は「出品票」がそのまま会場に展示されます。
8	選考及び賞	主催者が委託した審査委員によって、入選（特別賞を含む）100点を選考します。 ※審査基準は別紙参照 これらの作品は主催者が一括表装して展示し、入選者には賞状及び記念品を進呈します。 ※入選作品は返却します。それ以外の作品は返却いたしません。
9	展覧会（予定）	会 期： 平成30年10月27日（土）～28日（日） 午前9時～午後4時 会 場： 東大寺大仏殿西回廊

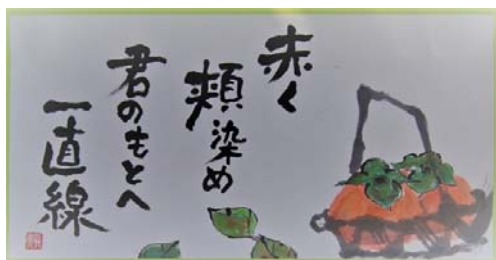
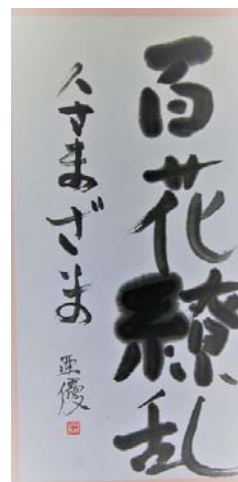
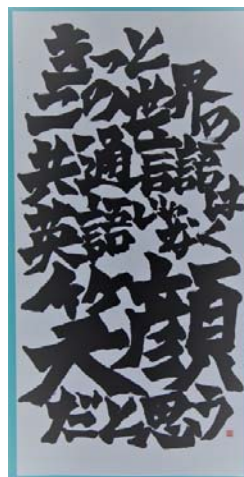
（注）個人特別賞：東大寺賞・奈良県知事賞・奈良県教育委員会教育長賞・奈良市長賞・奈良市教育委員会教育長賞・朝日新聞社賞・奈良 21 世紀フォーラム理事長賞
団 体 賞：団体奨励賞

「大仏書道展」 審査基準

1. 課題（テーマ）にそった作者の想いが豊かに溢れ、メッセージ性（発信力）があること。
2. 意欲的・創造的で、書の魅力と新しい書の無限の可能性を感じさせる作品であること。
3. 年齢に応じた若者らしい清新潑刺とした作品であること。
4. 「墨」や「毛筆」の特性を生かした作品であること。

以上

（参考）昨年の入選作品



出品票

(この出品票は各々の作品の右上にクリップ止めをしてください。)

説明、コメントなど	作品名	氏名	学校名
			学年
		テーマ	

- ・入選された場合、出品票はそのまま作品とともに展示されます。
- ・テーマ欄に「テーマ」をお書きください。(5つのテーマの内から)
- ・説明、コメント欄などに思いをご記入ください。

連絡先

(入選した場合の作品の送り先となります)

住所 ※学校のご住所をご記入ください。

〒	-
---	---

電話/FAX/E-mail ※学校のお電話番号をご記入ください。

--

氏名 (ご担当の先生)

--

10月28日(日)開催の席書会への参加について

(参加希望の場合○印をつけて下さい)

・参加を希望する

※揮毫内容等詳細は後日連絡します。

(講話の後、写経と自由題で揮毫した作品を大仏様へ奉納する。定員25名)

希望者多数の場合は抽選の上出席者を決めさせていただきます。